

平成 31 年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	ばあば工房『港まち・すこやか倶楽部』						
ふりがな 代表者名	いちはし れいこ 市橋 玲子						
募集期間 (該当を○で囲む)	(第1期) / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	●	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	●	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
		【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	『港まちの文化と健康を守ろう』						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	8	0	1	5	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	令和 元年 6月 1日 ~ 令和 2年 2月 16日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

1. 【地域課題】日本社会また、港まちにおいても、少子・超高齢社会が顕著に現れている。港まちの高齢化率も高く、独居・認知症さらに空き家問題も加速してきている。ばあば工房での参加者や活動の中でも、「私たち高齢者は、遠くにいけない。近くで、気軽に立ち寄り、健康や介護について、相談できるところがほしい」と声がある。

2. 【事業目的】

交流の場の意義: テーマ【○】でもある「心地よく安心して」地域の高齢者が暮らせるように、自分の足で出かけられる場所で、人と人との交流を行える居場所作りを目的とする。

(2) 事業の概要

- 定期的(2回/月)に、ばあば工房を会場とし、交流の場を開く。
健康相談や講座などを実施し、孤立化しやすい高齢の方のつながり・コミュニティ作りを行っていく。
- イベントとしての「落語会」を開催する。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

[高齢者サロン]

地域の高齢者が気軽に、立ち寄ることのできるサロンの開催。

- ①保健師・看護師・ケアマネジャー・医療相談員などによる「健康相談・認知機能低下防止相談会」
- ②高齢者への健康維持のために、「豊かな老後に役立つ話・講座」(高齢者の健康・詐欺防止・スマートフォンの使い方・体に良い料理)
- ③楽しみと生きがい、仲間作りを目的とする「手作り教室」を行う。

[イベント]

落語会の開催

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

[高齢者サロン]

令和元年6月～令和2年2月の間に、全15回(10時～15時)、ばあば工房にて開催
(健康相談会:4回)
(講話:4回)
(手作り教室:7回) 各2時間程度

[落語会]

令和元年12月7日 信興寺を会場にして、落語会の開催

3. 想定参加者人数・参加者層

[高齢者サロン]

参加人数 5～10名程度

対象:地域の高齢者

・講話

参加人数:10～20名

・手作り小物

参加人数:5～10名

[落語会]

落語家:柳家 緑君、南山大学落研

参加人数:50～70人程度

対象:一般市民・高齢者

(4) 広報手段

【チラシ】

- ・高齢者サロンの通年チラシ(配布用 300 枚+新聞折り込み用 1200 枚)
- ・サロン各回の案内チラシ(100 枚)×8 回作成
- ・落語会のチラシ(配布用 300 枚+新聞折り込み用 1200 枚)

【ポスター】

- ・高齢者サロンの通年ポスター(50 枚)
- ・落語会ポスター(50 枚)

- ・西築地学区内の喫茶店・商店などにポスターを張る。
- ・近隣にチラシを配布し、地域住民から参加者を募集する。
- ・学区商店や地域活動をされている方を通じて、今後の生活に不安のある方々へ伝える。
- ・各回参加者へ次の企画を紹介する。
- ・港まちづくり協議会・社会福祉協議会・いきいき支援センター・老人会・民生委員などから広報協力を得る。
- ・イベント「落語会」案内は、新聞折り込みを行う
- ・ばあば工房ブログにて、港まち地域イベントとして、広く広報する。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

事業採択後、チラシ・ポスター作製準備・講師依頼・参加者募集・広報開始
6月～2月・定期【高齢者サロン】開始

9月～イベント準備(落語家依頼・会場手配・チラシの準備)
12月「落語会」開催

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

[高齢者サロン]

会場スタッフ 3 名・補助スタッフ 3 名

健康相談:講師(保健師・看護師・ケアマネジャー・医療相談員等) 各 1 名
豊かな老後に役立つ話・手作り教室:講師(各種企画)1 名

[落語会]

スタッフ:10 名

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・今事業は、28 年度・29 年度・30 年度事業に引き続き、4 回目として申請する。当初予定していたより、多くの参加があり、健康・老後・いきがいや楽しみは、住民の関心が高いことがわかった。引き続き開催を希望される声も聞かれた。この事業を継続していくことで、地域住民の健康や老後を考えることの機会づくりとなり、また参加した人たちが広めていくことも想定できる。そのためには定期的な開かれた場であることが大切である。
- ・開催時には、参加者自らが、それぞれにできる役割を担うこともあり、ネットワークづくり・他者貢献へとつながっている。各種講師も地域で活動している方々の協力が得られる。

(2) 積算の妥当性

- ・看護師・ケアマネジャー・パソコンインストラクター等、専門職や講座講師、さらに担当スタッフもボランティア的協力が得られるため、安価である。
- ・定期講座を行いながらも、諸経費が少ないため、積算性は妥当である。
- ・今回イベント「落語会」は、講師料や会場費が非常に安価

(3) 公益性・社会貢献性

- ・高齢者の健康相談や講座を行うことは、高齢化率の高い地域に暮らす住民の不安を解消できる。「手作り教室」や「イベント」は、地域住民が地域で楽しむことができ交流の機会を作れる。
- ・本事業は、国が目指そうとしている地域包括ケアシステム(誰もが安心して、住み慣れた地域で最期まで暮らせる)の受け皿としても、地域での助け合いの仕組み作りを目的としている。
- ・古民家を活用している事業としては、昨今の問題「空き家の活用法」のモデルとなる。

(4) テーマとの整合性

本事業は、今後の超高齢社会への不安を、少しでも地域で解消していく。また、高齢者支援の地域ネットワークを作ることになり、「心地よく安心な港まちで暮らす」というテーマに合致している。

(5) 将来性

地域社会が抱えている、超高齢化・空き家問題などがあり、今後の地域課題としては、大きいものがある。高齢者に対応できる看護師やインストラクター・講師の役割は大きい。また、4回目となる事業に、スタッフや協力者が、本事業の意味を理解し、積極的に参加・協力が得られるようになっている。今後益々、こういった地域住民主体の【交流+楽しみ+助け合える場作り】が、必要とされることは必須である。今事業を通して、超高齢社会の地域において、課題を解消していく活動の第一歩となっていくと考える。

(1) 支出の部

項 目	金 額(円)						
① 外部講師謝金	1	8	6	0	0	0	円
② 旅費交通費	1	0	0	0	0	0	円
③ 会議費	2	1	0	0	0	0	円
② 物品購入費	3	5	0	0	0	0	円
③ 借上料	8	5	0	0	0	0	円
④ 保険料							円
⑤ 人件費	3	2	0	0	0	0	円
⑥ 委託外注費	1	2	4	5	0	0	円
⑦ 通信費							円
⑧ 印刷製本費							円
⑨ 事務費等	2	0	0	0	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)	8	0	1	5	0	0	円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	講師(看護師等):5000円(交通費込み)×4回=20,000円 講師(講話):5000円(交通費込み)×4回=20,000円 講師(手作り教室):8000円(材料費込み)×7回=56,000円 講師(落語会):落語家80,000円+南山大学落研10,000円=90,000円
1 8 6 0 0 0 0 円	
②旅費交通費	買い物・打合せ・広報等交通費
1 0 0 0 0 0 0 円	
③会議費	打ち合わせ会議時のお茶代:500円×6名×7回=21,000円
2 1 0 0 0 0 0 円	
④物品購入費	開催日用の茶菓代:1000円×15回=15,000円 落語会の茶菓代:20,000円
3 5 0 0 0 0 0 円	
⑤借上料	ばあば工房会場借り上げ費:5,000円×15回=75,000円 落語会会場借り上げ費(信興寺):10,000円
8 5 0 0 0 0 0 円	
⑥保険料	
0 円	
⑦人件費	高齢者サロン スタッフ:1,000円×5時間×15回×3名=225,000円 補助:1,000円×15回×3名=45,000円 落語会 スタッフ:1,000円×5時間×10名=50,000円
3 2 0 0 0 0 0 0 円	
⑧委託外注費	<デザイン・印刷代:112,500円>(港まちおでかけサロンと落語会) ポスター2種 各50枚 チラシ代3種 1500枚×2種、 (100枚×8ヵ月分=800枚)×1種 <新聞折り込み代:12,000>(6,000円×2回分)
1 2 4 5 0 0 0 0 円	
⑨通信費	
0 円	
⑩印刷製本費	
0 円	
⑪事務費等	文具・備品(コピー紙・インクジェット・マジックインク・のり・テープ)
2 0 0 0 0 0 0 0 円	
総支出合計=A	
8 0 1 5 0 0 0 0 円	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください

申請書作成時の注意

- 申請書作成時には、下のチェックリストを参考にして、所定の記入欄に不足なく記入・添付してください。
- パソコンで作成する場合は、申請書の様式の変更、ページの増設をしないで下さい。又、ページの欠落に注意してください。
- 手書きの場合は読みやすく記入してください。

点検欄	申請書項目・添付書類
<input type="radio"/>	1 「提案事業の計画」(1～3ページ)は具体的に事業の内容をイメージできる記載となっているか。
<input type="radio"/>	2 申請書に記入もれはないか。「別紙記入」としていないか。(全てのページ)
<input type="radio"/>	3 事業の収支計画(5・6・8ページ)は、「提案事業」についての収支計画であるか。(団体等の活動全体の収支計画を記入していないか)、計算違いはないか。希望金額(1ページ)と事業の収支計画に計上した金額が合致しているか。
<input type="radio"/>	4 期間に誤りはないか。所定の期間の活動か。(1ページ)
<input type="radio"/>	5 相談窓口を利用したか。(仮受付をしているか)

提出書類チェック

点検欄	種類
<input type="radio"/>	1 平成31年度「提案公募型事業」受託申請書類(1) <団体紹介書> ※片面印刷 ※捺印したかどうかご確認ください。
<input type="radio"/>	2 平成31年度「提案公募型事業」受託申請書類(2) <受託申請書> ※片面印刷
<input type="radio"/>	3 [対象経費明細のエクセル様式を使用する場合] 対象経費明細(様式2)
<input type="radio"/>	4 [団体の場合] 団体等の定款・会則・規約または寄附行為(財団法人の場合)の写し ※片面印刷
<input type="radio"/>	5 [参加費を徴収する事業の場合] 様式1 【徴収される参加費に相当する事業費】

(様式1)	参加費を徴収する事業の方は以下の項目も必ず記入し、ご提出ください。
-------	-----------------------------------

【徴収される参加費に相当する事業費】

(1) 収入の部

徴収する参加費の内容	単価(円)	人数(人)	合計(円)
収入合計			

(2) 支出の部

品目・内容	単価(円)	個数／人数	合計(円)
支出合計			

参加費を徴収する場合の注意点

- 参加費は、事業実施において必要な材料費等の実費分のみとします。参加費で充当される予定の支出品目については、委託金の中に含めて請求することはできませんので、ご注意ください。(充当する予定の支出項目については、上記「(2)支出の部」に記入してください。)
- 収入に関する証明書を精算時に提出していただきます。参加者リストを作成するなどして、人数等が客観的に把握できる資料を作成してください。